

Microsoft® Windows® 対応

HP Operations Manager

バージョン用 8.10

Dell™ Smart Plug-in

バージョン 1.0

ユーザーズガイド



メモ、注意、警告



メモ：メモでは、コンピュータを使いやすいするための重要な情報を説明します。



注意：注意は、手順に従わないと、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2010 Dell Inc. 無断転載を禁じます。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell、DELL ロゴ、OpenManage、PowerEdge、および PowerVault は Dell Inc. の商標です。Microsoft および Windows は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

商標または製品の所有権を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

2010 年 1 月

目次

1	はじめに	5
	Dell Smart Plug-in インストーラへのアクセス	5
	Dell Smart Plug-in の主な機能と利点	5
	Dell Smart Plug-in について	6
	対応 Dell デバイス	8
	対応 OS	8
	その他の必要マニュアル	8
	テクニカルサポート	9
2	Dell Smart Plug-in (SPI) の インストールおよびアンインストール	11
	Dell SPI 用管理サーバーの設定	11
	管理下システムの設定	12
	Dell SPI のインストール	12
	Dell SPI のインストールの確認	13
	Dell SPI のアンインストール	14
	インストーラの修復オプションの使用	15

3	Dell Smart Plug-in (SPI) の使用	17
	機能	17
	ポリシーの自動展開	17
	ポリシーの手動展開	18
	自動グループ分けポリシー	18
	SNMP インターセプタポリシー	19
	Dell SPI トラップメッセージの重要度	20
	SNMP トラップに基づく重要度の伝播	20
	Dell デバイスの正常性の監視	21
	Dell OpenManage Server Administrator の起動	21
	ツールからの OMSA の起動	22
	ノードグループからの OMSA の起動	22
	サービスマップからの OMSA の起動	22
	アラートメッセージからの OMSA の起動	23
4	Dell Smart Plug-in (SPI) のトラブルシューティング	25
	インストーラの起動に時間がかかる	25
	SNMP トラップメッセージが作成されない	25
	SNMP トラップが間違ったノードで受信される	26
	Dell システムのグローバル正常性状態が取得されない	26

はじめに

△ **注意**：本書に記載されている手順は、データの破損や損失を回避するために、HPOM の使用知識と経験を持つ担当者のみが行うようにしてください。

本書は、HP Operations Manager (HPOM) for Microsoft® Windows® バージョン 8.10 上で Dell™ Smart Plug-in (SPI) を使用して、Dell システムを監視するシステム管理者を対象としています。

Dell SPI を HPOM に統合することで、HPOM コンソールを使用して、HPOM で検出された Dell デバイスの可用性を監視できるようになります。

Dell SPI に同梱の readme ファイルには、ソフトウェアと管理ステーションの必要条件に関する最新情報に加え、既知の問題について記載されています。readme ファイルは、デルサポートサイト support.dell.com/manuals のシステム管理マニュアルページに掲載されています。また、readme ファイルは、自己解凍型実行ファイル `Dell_Smart_Plugin_v1.0_A00.exe` にも含まれています。

Dell Smart Plug-in インストーラへのアクセス

Dell Smart Plug-in (Dell Smart Plug-in 1.0.msi)、readme ファイル、および本ユーザーズガイドは、自己解凍型実行ファイル

`Dell_Smart_Plugin_v1.0_A00.exe` に同梱されています。インストーラは、デルサポートサイト support.dell.com からダウンロードできます。

Dell Smart Plug-in の主な機能と利点

Dell SPI は、管理サーバーに展開できるさまざまなポリシーやツールで構成されます。Dell SPI を使用すると、以下が可能になります。

- 対応 Windows オペレーティングシステムを実行する管理下ノードまたは非管理下ノードにあるすべての Dell システムを HPOM コンソールの **Dell 管理下システム** グループの下に分類する。
- Dell システムで実行されている Dell OpenManage™ Server Administrator (OMSA) および OpenManage Storage Systems (OMSS) によって生成される SNMP トラップを処理する。

- Dell **管理下システム** グループ下に分類されている Dell システムのグローバルシステム正常性を定期的に監視する。
- アラートのトラブルシューティングのために HPOM コンソールから OMSA ウェブコンソールをツールとして起動する。

Dell Smart Plug-in について

Dell SPI は、3つのポリシーファイルで構成されます。Dell SPI をインストールすると、HPOM コンソールに以下が表示されます。

- **ポリシー管理** → **ポリシーグループ** の下に Dell **デバイス用 SPI** ポリシーグループ。
- **サービスマップ** ビュー内に Dell **ハードウェアサービス**。
- **ツール** の下に **Server Administrator** ツール。

Dell SPI のインストールの詳細については、「Dell Smart Plug-in (SPI) のインストールおよびアンインストール」を参照してください。

表 1.1 に、Dell SPI にあるポリシーファイルを示します。

表 1-1 Dell SPI ポリシーファイル

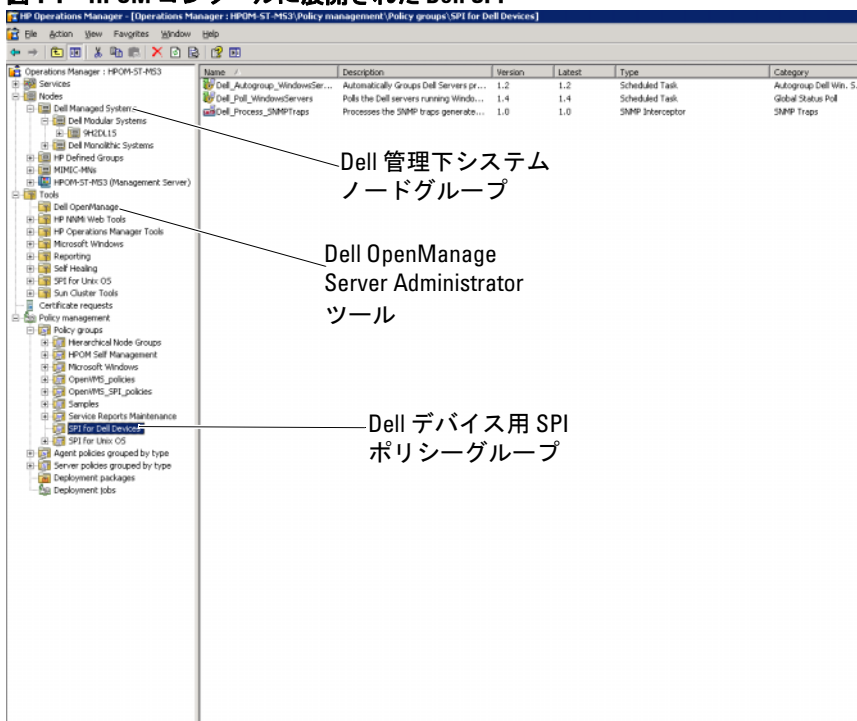
ポリシーファイル	説明
Dell_Autogroup_WindowsServers	<p>このポリシーは、すべての管理下ノードと外部ノードにわたってスキャンを行い、ノードグループで設定される Dell システムを特定し、HPOM コンソール上で Dell 管理下システム グループに分類します。</p> <p>このポリシーは、対応 OMSA バージョンおよび Windows オペレーティングシステムがインストールされ、SNMP が有効になっている Dell システムのみをこのグループに分類します。このポリシーは、毎日 23:00 に実行される用にスケジュールされています。</p>
Dell_Process_SNMPTraps	<p>このポリシーは、Dell システムから受信した OMSA および OMSS の SNMP トラップを処理し、HPOM コンソールに適切なメッセージを送信します。このポリシーは、システムから受け取った各トラップごとに、Dell システムのグローバル正常性ステータスを取得します。</p>

表 1-1 Dell SPI ポリシーファイル

ポリシーファイル	説明
Dell_Poll_WindowsServers	このポリシーは、 Dell 管理下システム として分類された Dell システムを定期的にポーリングし、システムの正常性ステータスを取得します。デフォルトでは、1 時間ごとに実行されます。

図 1-1 は、Dell SPI をインストールした後の HPOM コンソールを示しています。

図 1-1 HPOM コンソールに展開された Dell SPI



対応 Dell デバイス

HPOM の Dell SPI は、次の Dell デバイスをサポートしています。

- Dell PowerEdge システム - OMSA バージョン 5.3 ～ 6.2 がインストールされた x8xx ～ xx1x（共に包括的）のシステムを完全にサポートしています。
- Dell PowerVault システム - OMSA バージョン 5.3 ～ 6.2 がインストールされた x8xx ～ xx1x（共に包括的）のシステムを完全にサポートしています。

対応 OS

Dell SPI 対応オペレーティングシステムの最新情報については、readme ファイルを参照してください。

デルサポートサイト support.dell.com/manuals にあるシステム管理マニュアルページ、または `Dell_Smart_Plugin_v1.0_A00.exe` ファイルの解凍先から readme ファイルにアクセスできます。

その他の必要マニュアル

本ユーザーガイドに加え、デルサポートサイト support.dell.com に掲載されている以下のガイドも参照することが必要となる場合があるかもしれません。

- 『Dell OpenManage インストールとセキュリティユーザーズガイド』は、詳しいインストール手順、および対応オペレーティングシステム別の Server Administrator のインストール、アップグレード、アンインストールの方法を説明しています。
- 『Dell OpenManage Server Administrator 互換性ガイド』は、対応オペレーティングシステムを実行している各種ハードウェアプラットフォーム（システム）に Server Administrator をインストールして操作するときの互換性に関する情報を提供しています。
- 『Dell OpenManage Server Administrator メッセージリファレンスガイド』には、Server Administrator ホームページのアラートログまたはオペレーティングシステムのイベントビューアに表示されるメッセージ一覧が掲載されています。このガイドでは、Server Administrator が発行する各アラートメッセージのテキスト、重要度、原因について説明しています。

- 『Dell OpenManage Server Administrator コマンドラインインタフェースユーザーズガイド』では、Server Administrator の全コマンドラインインタフェース、およびシステム状態の表示、ログへのアクセス、レポートの作成、コンポーネントの各種パラメータの設定、重要なしきい値の設定などを CLI コマンドを使って実行する方法について説明しています。

SNMP トラップの関連の詳細については、デルサポートサイト support.dell.com/manuals の『SNMP トラップ関連ガイド』を参照してください。

本書で使用されている用語については、デルサポートサイト support.dell.com/manuals の「用語集」を参照してください。

テクニカルサポート

Dell SPI に関する情報およびサポートは、デルサポートサイト support.dell.com を参照してください。

Dell Smart Plug-in (SPI) のインストールおよびアンインストール

Dell™ SPI をインストールする前に、管理サーバーおよび管理下システムに必須ソフトウェアをインストールする必要があります。

Dell Smart Plug-in の readme に、全ソフトウェア要件のリストが含まれています。readme は、Dell SPI インストーラおよびデルサポートサイト support.dell.com/manuals のシステム管理マニュアルページから入手できます。

Dell SPI 用管理サーバーの設定

本項では、Dell SPI をインストールするための管理サーバー設定手順を説明します。



メモ : Dell SPI をインストールする HPOM 管理サーバーでのドメイン管理者権限が必要です。

- 1 管理サーバーに、HP Operations Manager (HPOM) for Microsoft® Windows® バージョン 8.10 と最新パッチをインストールします。

HPOM のインストールの詳細については、『HP Operations Manager インストールガイド』を参照してください。

- 2 管理サーバーと管理下ノード間の通信を確立するために、SNMP サービスをインストールして有効にします。

管理下システムの設定

本項では、管理下システムの設定手順について説明します。

- 1 管理下システムに対応 Windows オペレーティングシステムをインストールします。
- 2 管理下システムに SNMP サービスをインストールして有効にし、管理サーバーと通信できることを確認します。コミュニティ名を変更し、Get 操作を有効にして、HPOM 管理サーバーにトラップを送信できるように SNMP エージェントを設定します。SNMP の設定方法については、デルサポートサイト support.dell.com/manuals の『OpenManage Server Administrator ユーザーガイド』を参照してください。
- 3 Dell OpenManage? Server Administrator (OMSA) をインストールします。OMSA バージョン 5.3 ~ 6.2 がサポートされています。

OMSA はデルサポートサイト support.dell.com からダウンロードできます。

Dell SPI のインストール

本項では、Dell SPI のインストール手順を説明します。



メモ : Dell SPI をインストールまたはアンインストールする前に、HPOM コンソールを閉じる必要があります。

HPOM 管理サーバーに Dell SPI をインストールするには :

- 1 デルサポートサイト support.dell.com から Dell SPI をダウンロードします。Dell_Smart_Plugin_v1.0_A00.exe は、自己解凍型の .exe ファイルです。
- 2 ドメイン管理者権限を持つユーザーとして HPOM 管理サーバーにログインします。
- 3 Windows 向けの HPOM バージョン 8.10 が管理サーバーに正しくインストールされ、実行されていることを確認します。
- 4 管理サーバー上で Dell_Smart_Plugin_v1.0_A00.exe を実行します。システム上の任意のフォルダにコンテンツを解凍します。
- 5 自己解凍パッケージの解凍先フォルダから Dell Smart Plug-In 1.0.msi を実行します。
- 6 ウィザードの指示に従って、Dell SPI をインストールします。

インストール中にポリシーファイルの自動展開を選択できます。インストール中にポリシーファイルの自動展開を選択しない場合、管理サーバー上で手動展開する必要があります。詳細については、「ポリシーの自動展開」および「ポリシーの手動展開」を参照してください。

インストールが完了したら、インストールを確認できます。

Dell SPI のインストールの確認

Dell SPI のインストールを確認するには：

- 1 HPOM コンソールを起動し、**ポリシー管理** → **ポリシーグループ** の下に **Dell デバイス用 SPI** ポリシーグループが作成されたことを確認します。
- 2 **Dell デバイス用 SPI** ポリシーグループの下に以下のポリシーが存在することを確認します。
 - Dell_Autogroup_WindowsServers
 - Dell_Process_SNMPTraps
 - Dell_Poll_WindowsServers
- 3 HPOM コンソールが、**サービス** → **システムインフラストラクチャ** 配下に **Dell ハードウェア** ノードを表示し、すべての Dell デバイスのサービスマップを表示することを確認します。
- 4 HPOM コンソールで、**ツール** の下に **Server Administrator** ツールが表示されていることを確認します。
- 5 インストール中にポリシーファイルの自動展開を選択した場合：
 - **ノード** の下から管理サーバーを選択します。
 - 右クリックし、**表示** → **ポリシーインベントリ** を選択します。右ペインに Dell SPI ポリシーが表示されます。

Dell SPI のアンインストール

Windows® コントロールパネルから Dell SPI をアンインストールできます。Dell SPI をアンインストールする前に、次の事項を確認してください。

- 管理サーバー上で Dell ポリシーが実行されていないこと。
- Dell SPI ポリシーのユーザーがシステムからログアウトしていること。



メモ : HPOM をアンインストールする際は、その前に Dell SPI をアンインストールする必要があります。HPOM をアンインストールしてから Dell SPI のアンインストールを試みた場合、複数のエラーが表示された後アンインストールプロセスに失敗します。



メモ : Dell SPI のアンインストール時に、"One or more Dell SPI processes in progress. Cannot proceed with uninstallation." (「1 つ以上の Dell SPI プロセスが進行中です。アンインストールを続行できません。」) というエラーメッセージが表示される場合があります。この問題を解決するには、ポリシーを無効にするか、ポリシーの実行が完了するまで待ってからアンインストールを再試行します。

HPOM 管理サーバーから Dell SPI をアンインストールするには :

- 1 スタートメニューから **設定** → **コントロールパネル**、**プログラムの追加と削除 / プログラムと機能** の順に選択します。
- 2 Dell Smart Plug-in 1.0 を選択し、**削除** をクリックします。
アンインストールプロセスによって、HPOM 管理サーバーから Dell SPI が削除されます。

Dell SPI が管理サーバーから完全にアンインストールされたことを確認するには :

- 1 HPOM コンソールを起動し、**ポリシー管理** → **ポリシーグループ** の下から Dell **デバイス用 SPI** ポリシーグループが削除されたことを確認します。
- 2 **ノード** をクリックし、Dell **管理下システムグループ** が削除されたことを確認します。
- 3 **サービス** → **システムインフラストラクチャ** の順にクリックし、Dell **ハードウェア ノード** とすべての Dell デバイスのサービスマップが削除されたことを確認します。
- 4 **ツール** をクリックし、Server Administrator ツールが削除されたことを確認します。

インストーラの修復オプションの使用

Dell デバイス用 SPI ポリシーグループ、または管理サーバーのポリシーインベントリからポリシーを削除した場合、ポリシーを再インストールするには、Dell SPI インストーラの **修復** オプションを使用します。

修復 オプションは、欠けている Dell SPI ポリシーをインストールし、管理サーバー上のすべてのポリシーを自動的に展開します。



メモ：ポリシーを変更した後に削除した場合、修復オプションは、ポリシーのオリジナルバージョンのみをインストールします。要件に応じて、ポリシーを再変更する必要があります。

また、Dell Server Helper.dll ファイルが見つからない、または破損している場合、**修復** オプションは、同ファイルを元に戻します。

Dell Smart Plug-in (SPI) の使用

本章では、HP Operations Manager (HPOM) 管理サーバーに Dell™ SPI をインストールした後に実行できるさまざまな操作について説明しています。

機能

管理サーバーにポリシーを展開すると、次が行えるようになります。

- 対応 Windows オペレーティングシステムを実行する管理下ノードまたは非管理下ノードにあるすべての Dell システムを HPOM コンソールの **Dell 管理下システム** グループに分類する。
- Dell システムで実行する Dell OpenManage™ Server Administrator (OMSA) および OpenManage Storage Systems (OMSS) によって生成される SNMP トラップを処理する。
- **Dell 管理下システム** グループに分類された Dell システムのグローバルなシステム正常性を定期的に監視する。
- アラートのトラブルシューティングのために HPOM コンソールから Dell OpenManage™ Server Administrator (OMSA) ウェブコンソールをツールとして起動する。

HPOM 管理サーバーに Dell SPI をインストールした後、HPOM コンソールの **ポリシー管理** → **ポリシーグループ** → **Dell デバイス用 SPI** にあるポリシーファイルを表示できます。

ポリシーの自動展開

Dell SPI のインストール時に Dell SPI ポリシーを管理サーバーに展開できます。

ポリシーを自動展開する場合、ポリシーはデフォルトのスケジュールに基づいて実行されます。

ポリシーの手動展開

Dell SPI のインストール後に手動でポリシーを展開できます。

手動でポリシーを展開するには：

- 1 HPOM コンソールを起動し、**ポリシー管理** → **ポリシーグループ** → **Dell デバイス用 SPI** に移動します。
- 2 展開したいポリシーを選択します。
- 3 右クリックし、**すべてのタスク** → **展開先** の順に選択します。**ポリシーの展開先** 画面が表示されます。
- 4 管理サーバーを選択し、**OK** をクリックします。ポリシーは管理サーバーに展開され、デフォルトのスケジュールに基づいて実行されます。



メモ：ポリシーは、管理下ノードではなく、管理サーバーのみに展開するようにしてください。

自動グループ分けポリシー


自動グループ分けポリシーの **Dell_Autogroup_WindowsServers** は、**スケジュールされたタスク** です。このポリシーは、毎日 23:00 に実行される予定になっています。

自動グループ分けポリシーは、以下を行います。

- 対応 Microsoft® Windows® オペレーティングシステムを実行し、OMSA がインストールされ、SNMP が有効になっている Dell システムを検出する。
- 対応 Microsoft Windows オペレーティングシステムを実行する Dell PowerEdge™ および PowerVault™ システムを、HPOM コンソール上の Dell **管理下システム** ノードグループ下に分類する。
- PowerEdge および PowerVault システムを Dell **モノリシックシステム** と Dell **モジュラシステム** の 2 つの大きなカテゴリにグループ分けする。
 - Dell **モジュラシステム** シャーシサービスタグを名前にしたグループを作成します。同じシャーシに属するすべてのブレードサーバーは、**シャーシサービスタグ** グループの下にグループ分けされます。
 - Dell **モノリシックシステム** すべてのモノリシックサーバーをグループ分けします。
- HPOM **サービスマップ** ビューに、Dell **管理下システム** の下のノードごとに該当する 3 つのサービスを作成します。

HPOM サービスマップビューで Dell システムを表示するには：

- a HPOM コンソールで、**サービス** の下の **サービスインフラストラクチャ** を選択します。右ペインにサービスマップビューが表示されます。
- b **Dell ハードウェア** をクリックし、次に **Dell Windows サーバー** をクリックします。**サービスマップ** ビューには、**Dell モジュラシステム** および **Dell モノリシックシステム** に分類されたすべての Dell システムが表示されます。
- c サービスマップビューの各システムには、**Dell SNMP トラップ** と **Dell サーバー正常性** の 2 つのコンポーネントがあります。この 2 つのコンポーネントは、SNMP トラップおよびサーバーの正常性のポーリングに基づいて、システム状態の重要度を表示します。詳細については、「SNMP トラップに基づく重要度の伝播」を参照してください。

 **メモ**：Dell システムの実際の正常性を把握するには、**Dell サーバーグローバル正常性** サービスで状態を確認する必要があります。


SNMP インターセプタポリシー


SNMP インターセプタポリシー `Dell_Process_SNMPTTraps` は、Dell システムから管理サーバーに送信されたすべての SNMP トラップを処理し、フォーマットされたメッセージを生成して、HPOM コンソールに送信します。SNMP インターセプタポリシーには、Dell デバイスによって送信されたすべての OMSA/OMSS トラップを処理するためにあらかじめ定義されているルールがあります。

SNMP インターセプタポリシーは、Dell システムから受け取る各トラップを次の方法で処理します。

- 1 トラップを送信するノードのアクティブメッセージブラウザにメッセージを送信する。
- 2 **サービスマップ** ビューの **Dell SNMP トラップ** サービスにメッセージの重要度を反映する。
- 3 ノードのグローバル正常性状態を取得し、メッセージと共にノードのアクティブメッセージブラウザに送信する。ノードのグローバル正常性サービスで、グローバル正常性状態を表示することもできます。

- 4 **イベントのクリア** トラップを受信すると、トラップを自動確認します。トラップに関する詳細については、デルサポートサイト support.dell.com/manuals の『Dell SPI トラップ関連ガイド』を参照してください。

 **メモ**：アクティブメッセージブラウザに、特定の Dell システムの SNMP トラップに該当するメッセージが存在し、SNMP インターセブタポリシーが同じトラップを再度受け取った場合、既存のトラップの重複としてカウントされます。

 **メモ**：ノードを DNS で名前解決できない場合、Dell SPI はそのノードのグローバル正常性状態を更新しない場合があります。

Dell SPI トラップメッセージの重要度について

トラップには、プローブやセンサーによって記録された値に関する情報が含まれることがよくあります。プローブおよびセンサーは、アンペア数、電圧、温度などの重要なコンポーネントの値を監視します。Dell システム上でイベントが発生すると、次のいずれかの重要度を持つトラップが送信されます。

- **正常** — 電源装置の電源投入やセンサーの読み取り値が正常に戻るなど、装置の正常な動作を示すイベント。
- **警告** — 必ずしも重要ではないが、警告しきい値を超えるなど、将来的に問題が発生する可能性があるイベント。
- **重要** — エラーしきい値を超えたり、ハードウェアの故障など、実際のまたは差し迫るデータ損失や機能喪失を示す重要なイベント。

SNMP トラップに基づく重要度の伝播

管理下ノードの重要度の伝播は、**ノードビュー**と **サービスマップビュー**では異なります。

下記の表は、SNMP トラップに基づいた重要度の伝播について説明しています。

表 3-2 重要度の伝播動作

表示	説明
ノードビュー	ノード状態は、すべてのアクティブメッセージのうち最も高い重要度を表示します。この状態は、親ノードのグループに伝播されます。ノードの実際の正常性を把握するには、Dell サーバードグローバル正常性 サービスで状態を確認します。

表 3-2 重要度の伝播動作

表示	説明
サービスマップ ビュー	Dell SNMP トラップ サービスは、該当するノードの最も重要度の高いアクティブトラップメッセージを表示します。これは、親サービスに伝播されません。Dell サーバーグローバル正常性 サービスは、該当するノードの現在の正常性状態を表示し、親オブジェクトに伝播します。

Dell デバイスの正常性の監視

グローバル状態の更新ポリシー `Dell_Poll_WindowsServers` は、定期的に Dell システムのグローバル状態を更新するスケジュールされたポリシーです。このポリシーのデフォルトのスケジュールは、1 時間です。

グローバル状態の更新ポリシーは、**Dell 管理下システム** ノードグループ下にグループ分けされた各 Dell システムからポーリングを行い、グローバルシステム状態を取得し、該当する重要度メッセージをノードのアクティブメッセージブラウザに送信します。

グローバル正常性とは、システムの総合的な正常性を指します。システムの個々のコンポーネントの正常性は、異なる場合があります。個々のコンポーネントの正常性を表示するには、**Server Administrator** ツールを起動します。

ポリシーは、**サービスマップ** ビューに表示されている **Dell サーバークローム** **グローバル正常性** コンポーネントのシステム状態も更新します。



メモ : `Dell_Autogroup_WindowsServers` ポリシーが初めて実行され、Dell システムが **Dell 管理下システム** グループの下にグループ分けされるまで、システムのグローバル正常性状態は、HPOM コンソールに表示されません。

Dell OpenManage Server Administrator の起動

Dell SPI を使うと、HPOM コンソールから OMSA ウェブコンソールを起動できます。OMSA ウェブコンソールを起動して、監視対象の Dell システムに関する詳細情報を取得できます。Dell SPI をインストールすると、HPOM コンソールの **ツール** の下に **Dell OpenManage** フォルダが表示されます。

以下のいずれかのオプションを使用して、OMSA を起動できます。

ツールからの OMSA の起動

HPOM コンソールの **ツール** フォルダから OMSA ウェブコンソールを起動するには：

- 1 HPOM コンソール上で **ツール** → **Dell OpenManage** の順に選択します。
- 2 右ペインで **Server Administrator** を選択し、右クリックします。
- 3 ポップアップメニューから **すべてのタスク** → **ツールの起動** の順に選択します。**パラメータの編集** ウィンドウが表示されます。
- 4 **Dell 管理下システム** の下からいずれかの Dell システムを選択します。
親ノードの下から選択できるのは1つのシステムのみです。**Dell 管理下システム**、**Dell モジュラシステム**、**Dell モノリシックシステム**、または **Dell モジュラシステム** の下のシャードグループのいずれかの親ノードを選択した場合、"Tool cannot be launched on multiple nodes". (「ツールは複数ノードで起動できません」) というメッセージが表示されます。
- 5 **パラメータの編集** ウィンドウから **起動** をクリックします。ご利用システムのデフォルトブラウザ上に OMSA ウェブコンソールが開きます。



メモ：HPOM では、Dell システム以外の選択も可能です。ただし、その場合、OMSA ウェブコンソールは起動しません。

ノードグループからの OMSA の起動

Dell 管理下システム ノードグループから OMSA ウェブコンソールを起動するには：

- 1 **Dell モノリシックシステム** などの親ノード、または **Dell モジュラシステム** の下のシャードグループから Dell システムを選択します。
- 2 右クリックし、ポップアップメニューから **すべてのタスク** → **ツールの起動** オプションを選択します。**実行するツールの選択** ウィンドウが表示されます。
- 3 **ツール** → **Dell OpenManage** の下で **Server Administrator** を選択し、**起動** をクリックします。ご利用システムのデフォルトブラウザ上に OMSA ウェブコンソールが開きます。

サービスマップからの OMSA の起動

Dell ハードウェア → **Dell サーバー** サービスマップオブジェクトから OMSA ウェブコンソールを起動するには：

- 1 **サービスマップ** ビューで、**Dell サーバー** の下の Dell システムを選択します。

- 2 右クリックし、ポップアップメニューから **ツールの起動** オプションを選択します。**実行するツールの選択** ウィンドウが表示されます。
- 3 **ツール** → Dell OpenManage の下で **Server Administrator** を選択し、**起動** をクリックします。ご利用システムのデフォルトブラウザ上に OMSA ウェブコンソールが開きます。

アラートメッセージからの OMSA の起動

Dell システムに関連付けられているアラートメッセージから OMSA ウェブコンソールを起動するには：

- 1 Dell **モノリシックシステム** などの親ノード、または Dell **モジュラシステム** の下のシャードグループから Dell システムを選択します。
- 2 右ペインで、システムに関連付けられているアラートメッセージを選択します。
- 3 右クリックし、ポップアップメニューから **ツールの起動** → **メッセージ**、**ツールの起動** → **ノード**、または **ツールの起動** → **サービス** を選択します。**実行するツールの選択** ウィンドウが表示されます。
- 4 **ツール** → Dell OpenManage の下で **Server Administrator** を選択し、**起動** をクリックします。ご利用システムのデフォルトブラウザ上に OMSA ウェブコンソールが開きます。

Dell Smart Plug-in (SPI) のトラブルシューティング

本項では、Dell™ SPI の使用時に遭遇する可能性がある問題を挙げています。

インストーラの起動に時間がかかる

管理サーバー上で Dell SPI インストーラを初めて実行する際、システムがインターネットにアクセスできない場合、インストーラの起動に 40 ～ 45 秒の遅延が発生します。

この問題は、Authenticode 署名を持つ .NET Framework 2.0 マネージャセンブリの読み込みに通常より長い時間を要するために発生します。

Authenticode 署名を持つ .NET Framework 2.0 マネージャセンブリが読み込まれる際には、常に署名が検証されます。

この問題を解決するには、インストーラの実行時に管理サーバーがインターネットに接続していることを確認してください。

SNMP トラップメッセージが作成されない

SNMP インターセプタポリシーは、トラップの送信元となるノードのアクティブメッセージブラウザに SNMP トラップメッセージを表示しない場合があります。

この問題を解決するには、Dell 管理下ノードでトラップの送信先とコミュニティ文字列が正しく設定されており、管理下ノードと管理サーバー間の通信が確立されていることを確認してください。

SNMP トラップが間違っただノードで受信される

Dell 管理下システム グループにグループ分けされた Dell システムの監視を開始した後にノードの IP アドレスを交換すると、SNMP トラップは間違っただノードで受け取られます。例えば、Dell 管理下システム → Dell モノリシックサーバーグループの下に A と B の 2 つのノードがあり、両ノードの IP アドレスを交換した場合、A からのトラップは B のアクティブメッセージブラウザにメッセージとして表示され、B からのトラップは A のアクティブメッセージブラウザにメッセージとして表示されます。

この問題を解決するには：

- 1 HP Operations Manager (HPOM) コンソールでサーバー設定エディタを起動します。
- 2 ノードキャッシュ設定 オプションの下で、DNS キャッシュの値を False に設定し、DNS キャッシュを無効にします。

これにより、ノードに正しいトラップが表示されるようになります。

Dell システムのグローバル正常性状態が取得されない

グローバル状態の更新ポリシーである Dell_Poll_WindowsServers は、システムが Dell 管理下システム グループの下に分類されるまで、Dell システムのグローバル正常性状態を取得しません。

Dell SPI のインストール時にポリシーファイルを自動展開することを選択した場合、ポリシーはデフォルトのスケジュールに基づいて実行されます。グローバル状態の更新ポリシーは、1 時間ごとに実行され、システムのグローバル正常性状態のポーリングが行われます。それに対して、自動グループ分けポリシーは、毎日 23:00 にのみ実行するようにスケジュールされています。このため、Dell_Autogroup_WindowsServer ポリシーが実行され、Dell システムが Dell 管理下システム グループの下にグループ分けされるまで、システムのグローバル正常性状態は HPOM コンソールに表示されません。